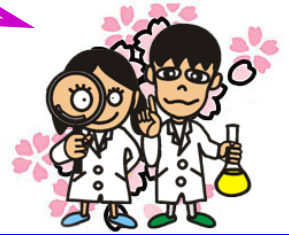


感染症に気をつけよう!

2022年【4月号】

横浜市内の感染症 流行状況

4月5日
発行



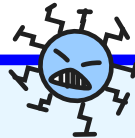
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	やや減少	新規の感染者数はゆるやかに減少傾向ですが、感染の再拡大が心配されています。【'22.3号】
梅毒**	発生	横ばい	報告数の比較的多い状況が、継続しています。【チラシ 梅毒知ってますか?無料・匿名検査】

国立感染症研究所*

厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

今、気をつけたい感染症

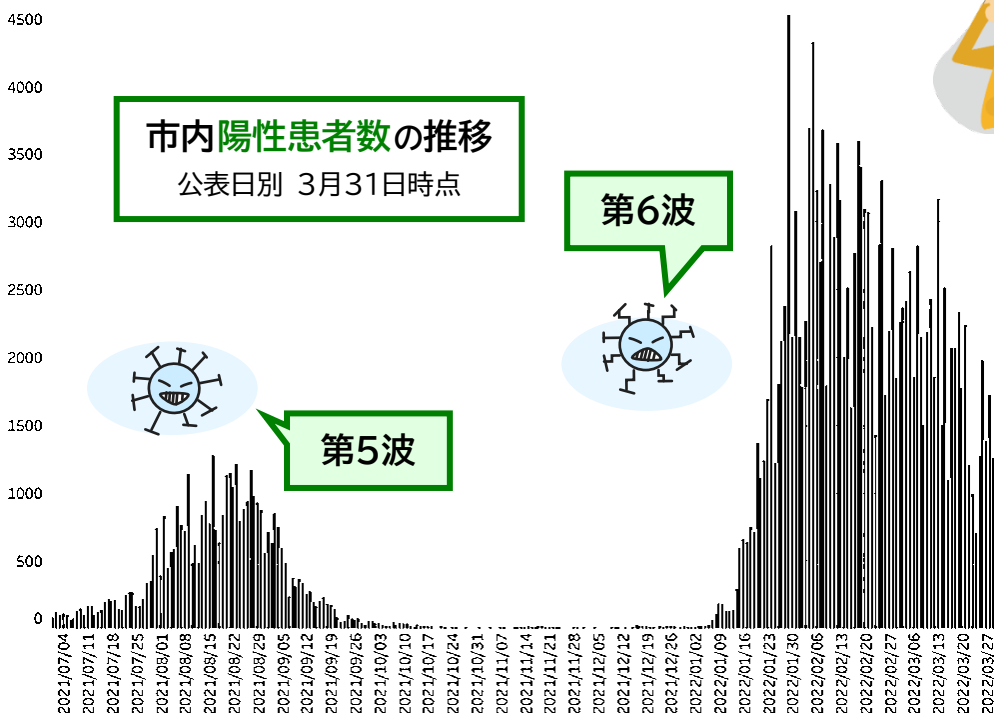


新型コロナウイルス感染症



体調不良時の出勤・登校・移動は控えましょう!

- 少しでも体調が悪い時は、無理をしないで外出は止めてください。
- 無理をして出かけると、クラスター(患者集団)の発生につながる恐れがあります。
- 1人ひとりの行動が、大切な人とあなたの日常を守ることに繋がります。



体が
だるい



熱が
ある



のどに
違和感



無理
しないで!

参考リンク: 横浜市保健所

【新型コロナウイルス感染症に関する情報について】

【小児接種(5~11歳)について】